

中学校区一貫教育校園 玉野市立八浜中学校



**「教育の質を高める」
教職員働き方改革の推進**

中学校区一貫教育校園 八浜中学校の概要 平成30年度

	1年生	2年生	3年生	合計
生徒数（下段は特支学級生徒数）	25 3	46 1	41 0	112 4
通常学級数	1	2	2	5

自閉症・情緒障害特別支援学級 1 学級

【教職員数】

校長 1名
 教頭 1名
 指導教諭 1名
 教諭 8名
 常勤講師 1名
 事務職員 1名
 養護助教諭 1名
 図書館司書 1名
 用務員 1名
 学校サポートスタッフ 1名
 非常勤講師 5名
 兼務教諭 2名

常勤職員
14名

常勤職員年齢構成

50代 6名
 40代 1名
 30代 5名
 20代 2名



- ◆ 中学校区一貫教育校園での連携推進
- ◆ 「教えて考えさせる授業」研究推進

【平成29年度時間外勤務時間の状況】
平均時間外勤務時間：58時間

市全体で教職員働き方改革の機運 市内中学校で足並みを揃えた改革

地域・保護者の改革に対する理解促進



本校独自の働き方改革

- ◆落ち着いた学校維持が何よりも大切！
- ◆やるべきことはとことんやる！
- ◆帰れるときはすぐ帰る！（メリハリ）
- ◆教育の質は絶対に落とさない！

留守番電話の導入

- ・市内全小中学校でH30年4月から導入
 - ・19時に手動で設定（定時退校日等は別）
 - ・録音機能は使用無し
 - ・保護者への理解促進文書は市教委から配布
- ※特に苦情や困った事案は無し。

中体連玉野支部での共通理解

- ・部活動の休養日設定を中体連玉野支部で意思統一
 - ・校長会で公式試合認定の明文化
- ※**中学校での時間外勤務時間の削減に最重要！**

1学期定期考査の廃止検討

- ・令和2年度から5月に修学旅行、体育会（現在の9月開催を5月に移動）、チャレンジワーク等を集中させ1学期中間考査の廃止を決定

市内で統一が重要

「かえる会議」設置

【メンバー】

管理職、研究主任、教務主任、学年主任、事務主事

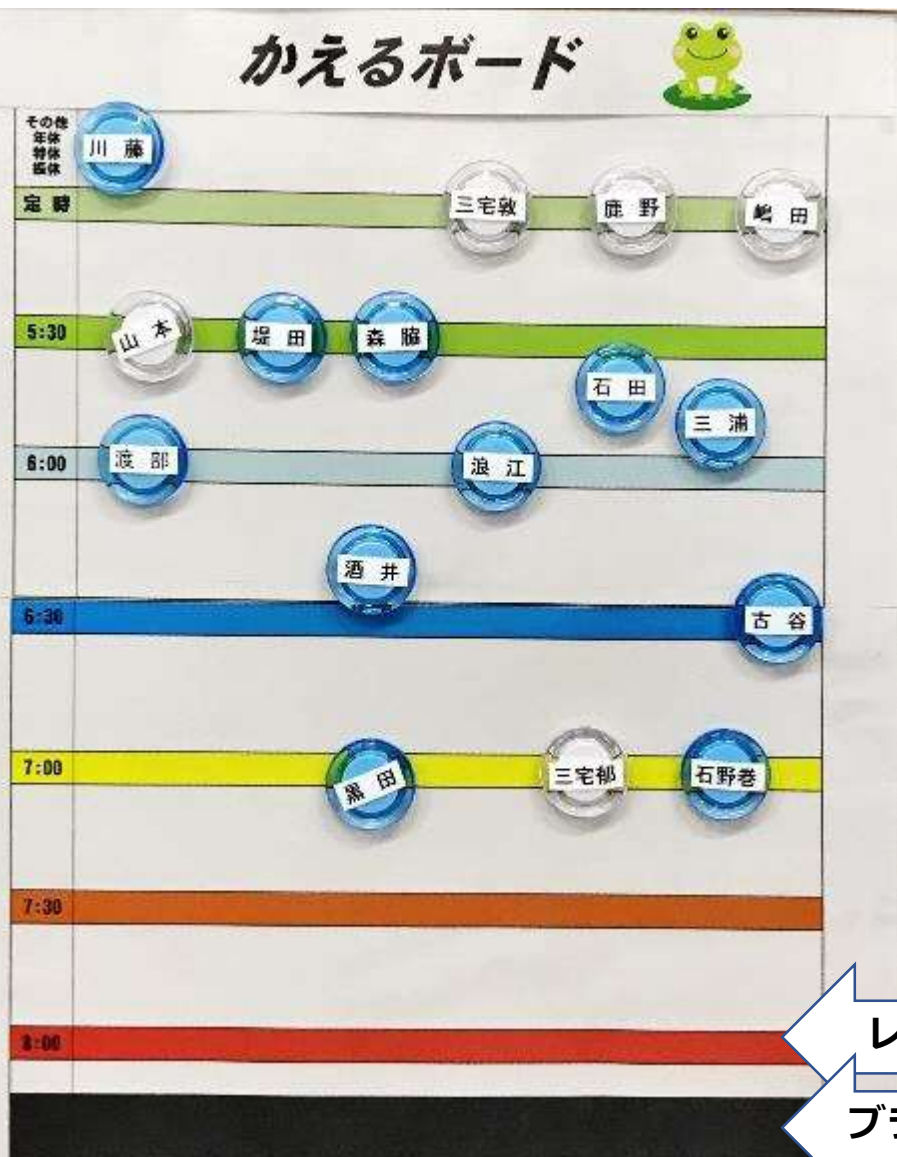
- ・気軽に集まって協議
- ・教職員から提案のあった改革事項の検討
- ・小さい事も検討することが大切

「やる前に否定するのではなく、まずはやってみる、やって良かったことは続けながら、さらに改善を重ねる」これが八浜中のいいところ！（コンサルタントより）

【検討事項例】（教職員からの提案を検討）

- ・教材研修や授業準備のため、水曜日は5時間
- ・連絡フォルダを作成し会議や朝礼の時間短縮
- ・6月は祝日がないので、全員年休1日は取得
- ・毎週水曜日は簡略掃除として定時退庁を促進
- ・資料にインデックス等の整理整頓で探す時間を削減
- ・校内サーバーの整理
- ・会議資料の事前配付、提案文書は早期に提出
- ・会議資料のWEB化
- ・運営・企画委員会と職員会議の精選
- ・出席簿の点検を月ごとに提出
- ・連絡カードを見直して簡略化

「かえるボード」導入でタイムマネジメント意識の向上



タイムマネジメントを意識した働き方実現のための「かえるボード」を導入

- ・自分の業務を計画的に進める意識、メリハリをつけた働き方を行う意識の向上

- ・ライフ目標共有による声かけ促進
- ・お互いに助け合う職場風土の醸成に成果

- ・ボードの設置位置を工夫
全員に見える位置へ



「教職員の育成評価システム」自己目標シート ライフの目標も記入

- ・ 面談時、管理職から励まし
- ・ 中間面談では学年団単位でのライフ目標も共有
- ・ 職場の同僚としてライフも応援する
機運を醸成「みんなで応援」
(声かけができる職場づくり)

「知見を広め生徒へ還元できる趣味・特技など」を記入

知見を広め生徒へ還元できる
趣味・特技など

毎日30分は運動を継続し健康・体力の維持向上を図る。休日には趣味のサッカーやサイクリングで気分転換を図る。本屋にも立ち寄り、趣味の雑誌や自己啓発の本を探す。市民早稲野球に参加するため早稲練習をする。

～ふり返り～

体力づくりは、生涯の趣味であり楽しく継続できてはいるが、向上しているか疑問である。早稲野球も参加でき、思い出の野球人生の1ページとなった。自己啓発の本も、自分としては大変多く読むことが出来た。「友達幻想」「ずっとしんでいたあの知識。実はウソでした」「極上の孤独」「小説「上杉鷹山」など楽しかった。

知見を広め生徒へ還元できる趣味・特技など

毎日30分は運動を継続し健康・体力の維持向上を図る。休日には趣味のサッカーやサイクリングで気分転換を図る。本屋にも立ち寄り、趣味の雑誌や自己啓発の本を探す。市民早朝野球に参加するため早朝練習をする。

～ふり返り～

体力づくりは、趣味でもあり楽しく継続できてはいるが、向上しているか疑問である。早朝野球も参加でき、思い出の1ページとなった。自己啓発の本も、自分としてはたくさん読むことができた。「友達幻想」「ずっと信じていたあの知識、実はウソでした」「極上の孤独」「小説 上杉鷹山」など、今後も継続していきたい。還暦記念に大きなスポーツ大会への参加を考えており、トレーニングの強度を上げている。

「かえる通信」 発行

かえる通信 1 八浜中

4月26日(木) 学校訪問指導

コンサルタント、市教委、県教委が学校を訪問
・管理職との面談30分 取組方針内容等の共有
・一般教職員への講話ワークショップ



○教頭から前年同期(4月末)の業務時間の比較を報告 平均5時間減 部活動が大きい。

○校長が取組の現状を説明

・「業務改善加速事業モデル校」のステッカー

・かえるボード

・留守番電話の導入

・部活動と中体連の取り決め事項の文書化(大会前1週間以外は平日1日は休日・土日のいずれかが休日とする。その大会を各専門部で決定。1年度から秋季大会を廃止)

・業務記録のパソコン導入

・自己目標シートの「知見を広める趣味の欄」の設置(ワークとライフ)別紙参照

・各分掌での工夫(例:生徒会の委員会を統合)

・水曜日の清掃を簡易清掃にして、定時退校日の実施を目指す。

・家庭訪問の見直し(来年度は1年生のみ完全実施、2,3年生は希望者のみ実施)

・週休日の小中連携、地域行事(運動会・音楽会、盆踊り、老人会カラオケ大会)への管理職の参加の見直しを、小中連携管理職会で提案

○ワークショップ

「理想の学校」「理想の働き方」について話し合い、付箋を貼りグループ化、テーマを考える。(写真)

<川上先生からの講評>

すでに多くの取組を実践していて感心した。中体連の取り決め事項の文書化共有は素晴らしい。自己目標シートの「知見を広める趣味の欄」の設定(ワークとライフ)はとくに関心を持たれた。家庭訪問の見直しも初めての学校となるようだ。職員間で業務改善加速事業モデル校についてのエネルギーを感じたと言われた。話し合いが良く持たれているようだとも言われた。

<県教委からの講評>

県示した実践例、家庭訪問や簡易清掃についての取組を考えてくれてありがたいとのこと。

※ 部活動指導記録簿について質問したがスルーされた。部活動指導記録簿と業務時間記録簿は事実を記入することと指導した。県ガイドラインでは休日の運動部活動の活動時間は3時間程度だが、3校での練習試合などの場合は8時間の指導時間となる。活動時間と指導時間の違い。



かえる通信 13 八浜中

今年度の報告が多かったため前年度より短縮しました。今月は定例の掲載となりました。

29:業務記録簿 30:業務記録簿

三野市八浜中学校

29:業務記録簿 30:業務記録簿

29:業務記録簿 30:業務記録簿

29:業務記録簿 30:業務記録簿

29:業務記録簿 30:業務記録簿

29:業務記録簿 30:業務記録簿

29:業務記録簿 30:業務記録簿

29:業務記録簿 30:業務記録簿

29:業務記録簿 30:業務記録簿

29:業務記録簿 30:業務記録簿

29:業務記録簿 30:業務記録簿

29:業務記録簿 30:業務記録簿

何のための働き方改革か、何を目指すのか、今何が課題か、現状はどうか、現状を共有することで当事者意識を醸成

コンサルタントの学校訪問：意識改革への取組

教職員アンケート実施→「意識改革が課題」

コンサルタントの学校訪問の目的：教職員の意識改革に設定
→校内研修、かえる会議メンバーへの助言

「生み出した時間にやりたい仕事をする」働き方への意識改革に成果



コンサルタントとのWeb会議

研究の進捗状況の確認、取組内容の検討
コンサルタントからの助言や励まし

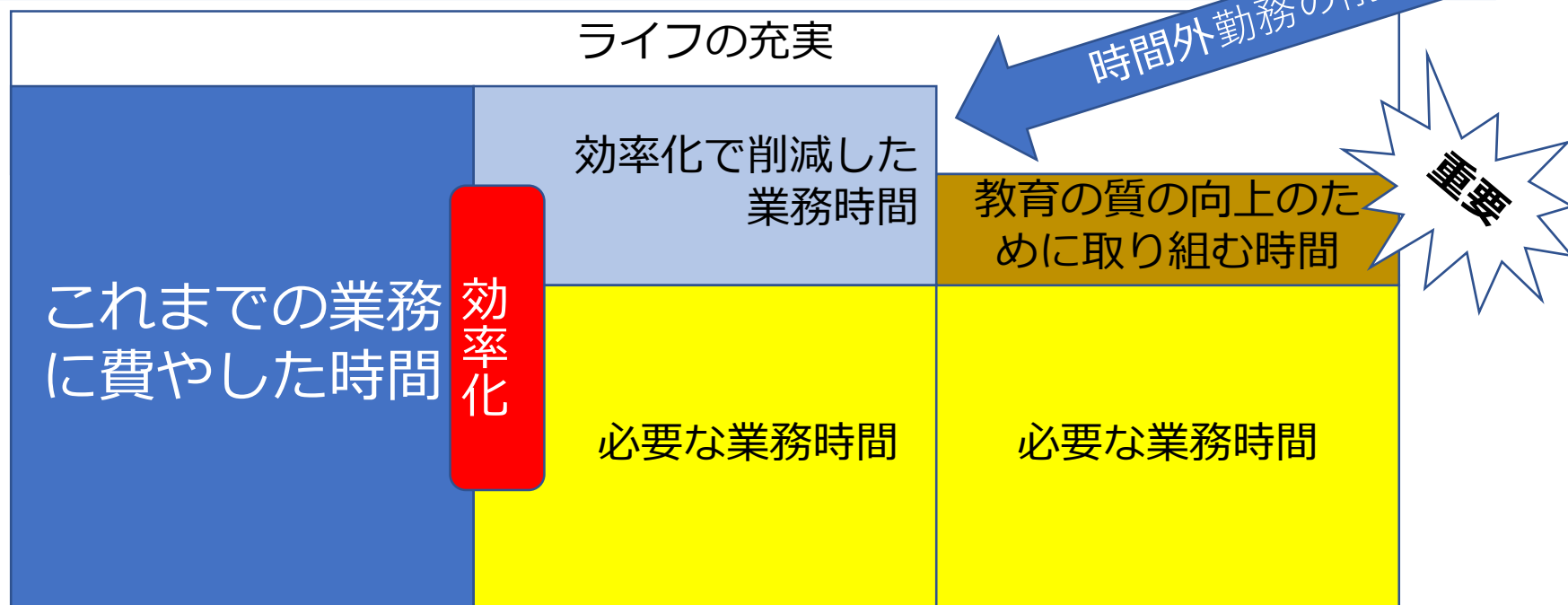
みんなで知恵を出し合おう！



- ◆かえる会議（教職員の参画意識）
- ◆かえるボード（教職員タイムマネジメント意識）
- ◆かえる通信（業務改善の目的等の共有）
- ◆ライフ目標の設定（自分自身のライフ時間意識）



コンサルタントによる助言や校内研修による 教職員意識改革



家庭訪問,個人懇談,自由参観日の見直し

かえる会議で検討

1・2年生は7月と12月に懇談
3年生は7月、10月、12月に懇談
4月の家庭訪問は1年生のみの実施をかえる会議で
検討。自由参観日の廃止

保護者や学校評議員等へ提案

平成31年度から2・3年生の家庭訪問廃止
夏休み懇談は希望者のみ実施
3年生の10月懇談は今後検討

水曜日の定時退校を促進

水曜日は簡易清掃日＋部活動休養日
職員会議等を簡略化して定時退校を促進
※曜日に関わらず職員会議がある日は簡易清掃日とする。

生徒会組織の見直し

生徒会組織の検討（教職員数、生徒数の減少への対応）

- ・ 生徒会執行部へ提案（現状を説明し改善案を協議）
- ・ 給食委員会と保健委員会、生活委員会と美化委員会を統合、広報委員会は廃止（3委員会を廃止）

※生徒にも働き方改革の必要性を理解してもらうことが大切

生徒手帳の廃止

生徒手帳を廃止し、IDカード化（校則等の冊子配布）

- ・ 押印業務の軽減

生活ノートのコメント制限

教育相談の観点から重要である生活ノートのコメントに担任による記入量の差

- ・ 記入量の統一を共通理解

出席簿の点検を毎月に

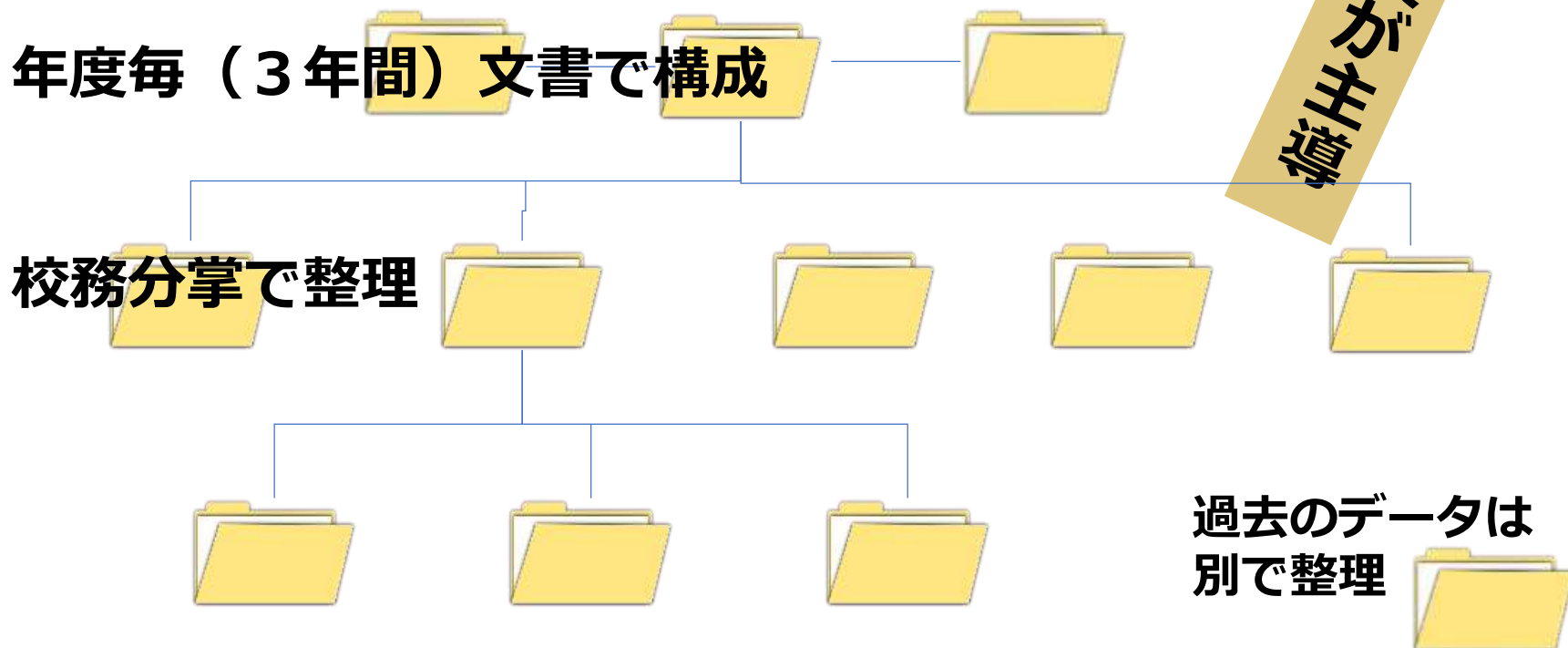
毎学期末に行っていた出席簿点検を毎月点検に。
教務主任の負担軽減

職員会議のペーパーレス化

- 共有フォルダに会議資料をまとめて整理
(会議の時には各々のデスクトップへ貼り付け)
- ・ 教務主任の資料集めや印刷業務の削減
 - ・ 全職員に好評で今後も継続 (年間の紙代節約や資料を探す時間の削減)

教職員共有フォルダの構成改善

フォルダツリーの構成を再検討
見やすく、探す時間の短縮を図った。
過去3年間のみ表示
それ以前のファイルは別に保存
※意外と過去のデータの閲覧は無し。



職員室レイアウトの検討

コクヨ山陽四国販売（株）オフィス見学、整理術研修会開催

効率的な業務遂行・同僚性の向上の視点で職員室の配置を検討（3月末移動）



成果



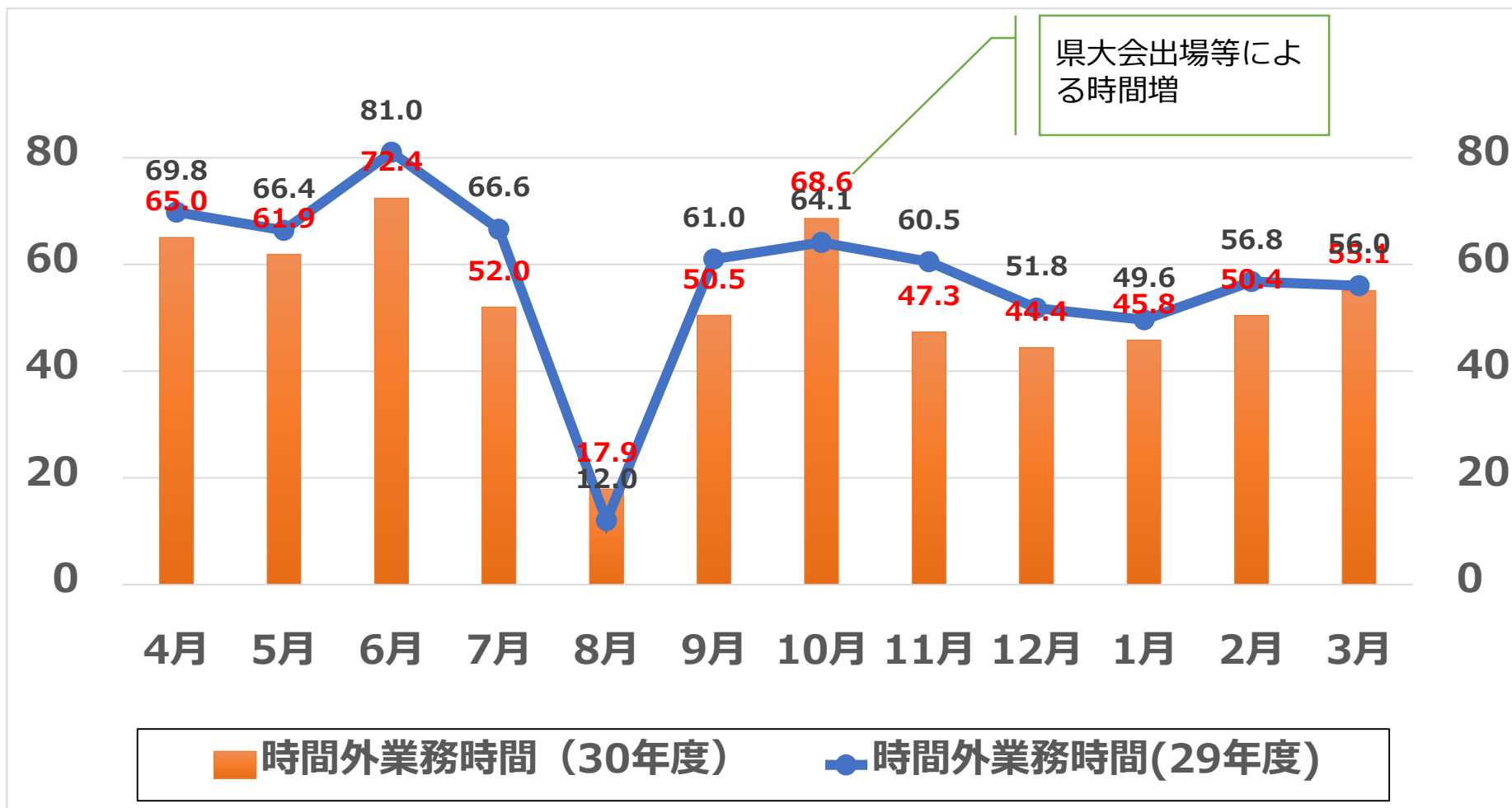
- 教職員の意識改革に成果
 - タイムマネジメント力の向上、参画意識の醸成
- 効果的な業務遂行で生まれた時間を子どもと向き合う時間に活用
 - ★落ち着いた学習環境の維持
 - ★「教えて考えさせる授業」の充実

成果

H30年度ひと月の一人平均時間外勤務時間：約 5 3 時間
(昨年度：約 5 8 時間)

一人平均約 5 時間の減少

昨年度と比較した時間外勤務時間の状況



課題

・次年度以降、業務改善や教職員の参画意識を継続し、働き方改革を進めることができるか。

